

インバウンド需要への対応と
海外への営業活動のサポート
何でも相談できる存在に



二人三脚で
事業を推進
頼りにしています！

20名の応募から2名を採用

湯沢市の醤油・味噌醸造元である「有限会社石孫本店」。昔ながらの製法、伝統を守ってきた蔵だ。石川裕子社長が昨年春、秋田県信用保証協会からの勧めもあり、秋田市で行われたセミナーに参加。個別相談を経て、副業人材活用を取り入れたという。

「コロナ禍が過ぎればインバウンドの需要が高まるだろうと見込んでいました。英語での蔵案内や商品の説明に対応すべく、整備が必要だと思っていたんです」。

英語対応が迫られる中、従業員の守屋奈美さんは、学生時代に学んだ英語を活かしてみたいと、海外担当に立候補した。

「長年、英語に触れておらず空白があったので英語力のある方に助言してもらえるのは心強いと思いました。選考は座談会スタイルで、総勢20名の方が参加してくださいました。皆さんとても優秀な方々でしたが、気軽に話ができそう、フィーリングが合いそうな方2名と契約しました。契約後、蔵に来てもらって直接お会いしました」。

幅広いジャンルでサポート

まずは蔵見学の流れを動画で撮影し、日本語で行っている案内をマニュアル化。その後英語に翻訳し、蔵案内のベースを作った。

「実際に通じるのが不安でしたが、副業人材の方が国際教養大卒の方で、大学と調整して留学生を集めて、モニターツアーを企画してくれました。シミュレーションを行うことで、通じるところや難しいところを体感できたので安心できました」。

その後は実際に外国人客を案内し、課題が見つければその都度相談している。

「おふたりとも英語が堪能で、輸出業務の経験がある。さらに動画編集などもでき、多才。海外での展示会用の資料も作っていただくなど、柔軟に対応してもらっています」と守屋さんは絶大な信頼を寄せている。

石川社長は、今後も当社の商品を国内外に発信しながらより理解を深めてもらい新たなことに挑戦したいと意気込む。社員とのフィーリングを大切にした人選が、良好な効果をもたらした、好事例と言えそうだ。



有限会社 石孫本店
総務企画・海外担当
守屋 奈美 Moriya Nami

〒012-0801
湯沢市岩崎字岩崎162
TEL:0183-73-2901



ホームページ

経営改善に意欲的な企業を
多様な外部人材の獲得で
支援します。

[お問い合わせ]
秋田県プロフェッショナル
人材戦略拠点
TEL.018-860-5624



石孫本店の味噌や醤油。少ない容量のものを海外向けに用意するなどの工夫も行っている。



モニターとしてではなく、学校行事として国際教養大の留学生がツアーで訪れた際、守屋さんが英語で案内。



蔵の随所に掲げる案内板には二次元バーコードを掲示。アクセスすれば、英語での案内を見ることも可能だ。